



水系1液アクリル・シリコン樹脂

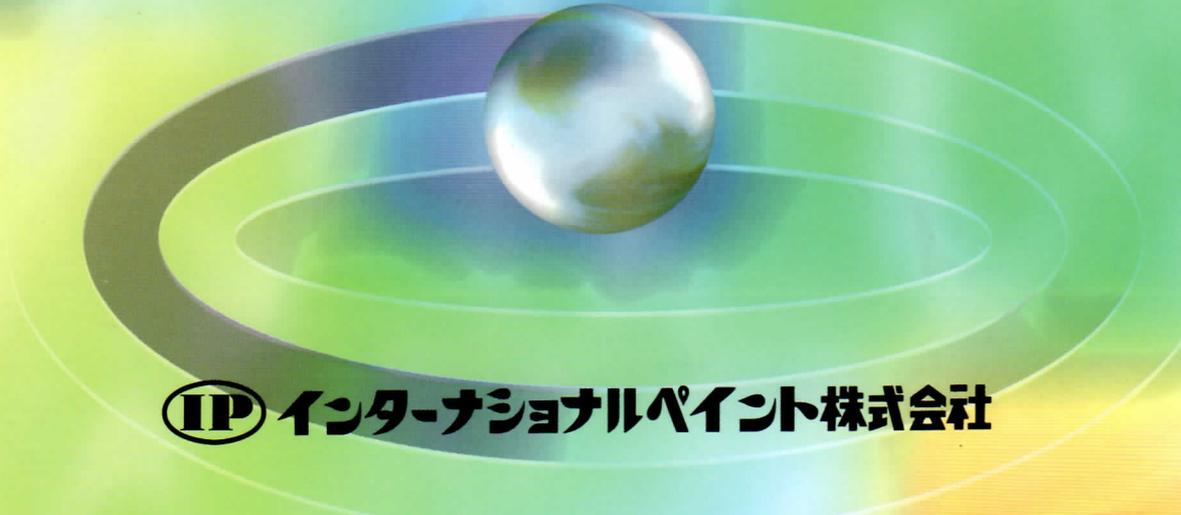
IPバリアコート



◆環境対応型水系塗料◆

◇超低TVOC (W1)

◇F☆☆☆☆ (I01007)



IP インターナショナルペイント株式会社

IPバリアコート

IPバリアコートは塗り替え現場において問題となる事が多い下地のシミ、ヤニなどの影響を抑える(バリア)画期的な塗料です。しかも上塗り塗料と同色に調色する事により“IPバリアコート1回塗り+水系上塗り塗料1回塗り”の全2工程で仕上がる内部の塗り替え専用下塗り水性塗料です。

IPバリアコートはホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(認定)、トルエン、キシレン、鉛を含まず、TVOCも0.5%以下の安全、無公害塗料ですので、居室用塗料として安心してご使用いただける環境対応型塗料です。

特徴

I. バリア性に優れる

アクリル・シリコン樹脂の優れたシール性に加え、特殊フィラーの配合によりシミ、ヤニの成分と反応(吸着)し、下地を安定化させます。シール性能、反応(吸着)性能の相乗効果によりシミ、ヤニを効果的、且つ強力にバリアします。また、下地を安定化させることにより経時によるバリア性の低下がありません。

II. 密着力に優れる

アクリル・シリコン樹脂の配合により、浸透性、シール性に優れた高性能シーラーとしてもご使用いただけます。また、ビニルクロスにも直接塗装でき、内装のあらゆる下地についてシミ、ヤニ止め処理を含めたオール水系・超低TVOC塗装^(※)が可能です。

(※)標準塗装仕様書参照

III. 工程の短縮

IPバリアコートを上塗り塗料と同色に調色することにより、塗装工程を増加させることなく、全2工程(下塗り1回+上塗り1回)でシミ、ヤニ抑えを含めた塗装が可能です。

IV. 安全・無公害

完全水系(超低TVOC)タイプ、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(認定)、トルエン、キシレン、鉛を含まない安全・無公害で、居室用としても安心してご使用いただける環境対応型塗料です。

環境対策

- ホルムアルデヒド放散等級(新建築基準法、及び新JIS規格)
F☆☆☆☆(認定)

- 室内濃度測定対象化合物

○国土交通省 住宅局 測定対象化合物

トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン

ゼロ配合

○文部科学省 シックスクール測定対象化合物

トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン

ゼロ配合

- 鉛ガイドライン(含有量0.06%以下)

ゼロ配合

超低TVOC設計

ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(認定)で、且つ揮発性有機化合物(VOC)放散量が0.5%以下という極めて少ない超低TVOC設計ですので塗装中、塗装後の環境汚染がありません。

国土交通省住宅局、および文部科学省で室内濃度測定対象化合物に指定されているトルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン、パラジクロロベンゼンをゼロ配合としています。また厚生労働省が選定した13品目についてもすべてを配合していません。

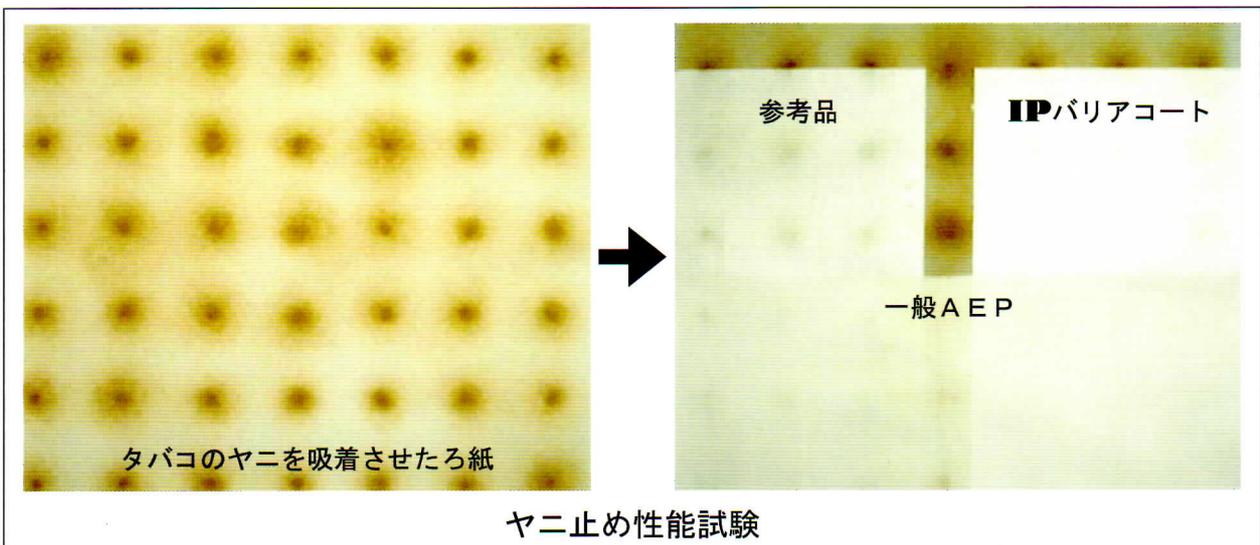
塗料設計条件	目標値*	IPバリアコート
TVOC (全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質	0.1%以下	適合
生殖毒性物質		
変異原物質		
感作性物質	0.1%以下	適合

※(社)日本塗料工業会の設定値

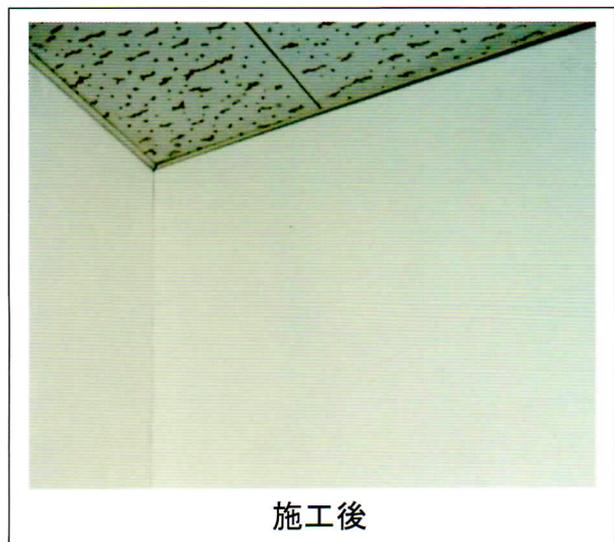
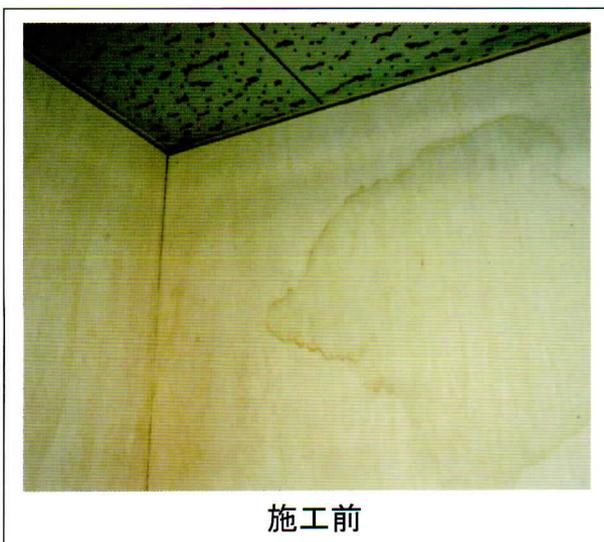
◆性状

試験項目	基準	試験結果
主樹脂系	特殊変性アクリル・シリコンエマルジョン	—
樹脂イオン	ノニオン	—
チキソ係数	0.30	60rpm粘度/6rpm粘度
比重	比重カップ法	1.21
不揮発分(%)	105℃ 3時間	44.5
PH	PHメーター	8.15
光沢度(%)	60℃鏡面光沢度	29.5
隠ぺい率(%)	隠ぺい率試験紙 150μアプリーケーター	96.0
TVOC	(社)日本塗料工業会設定値	0.5%以下(W1)
ホルムアルデヒド放散等級	デンケーター法	0.3mg/ℓ以下

◆シミ・ヤニ止め性能



◆施工例



用途

内部塗り替え全般、及びビニルクロスの塗装の下塗材

荷姿・塗り面積

100~125㎡/15kg 石油缶(1回塗り)
23~29㎡/3.5kg ガロン缶(1回塗り)

標準施工仕様書

A. 内部シミ・ヤニ抑え、塗替え(超低TVOC)塗装仕様

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率(%) (清水)	塗布量(kg/㎡)	乾燥時間	摘要
素地調整	ゴミ・ホコリ・油分などを除去。中性洗剤などを使用しシミ・ヤニを拭き取る				
下塗り	IPバリアコート	0~3	0.12~0.15	3時間以上	乾燥確認
上塗り	ビニラー2100<弾性タイプ>	5~10	0.12~0.13	2時間以上	—

B. 内部シミ・ヤニ抑え、塗替え塗装仕様

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率(%) (清水)	塗布量(kg/㎡)	乾燥時間	摘要
素地調整	ゴミ・ホコリ・油分などを除去。クラックなどはIPパテ各種にて補修				
下塗り	IPバリアコート	0~3	0.12~0.15	3時間以上	乾燥確認
上塗り	各種水系AEP または水系グロスペイント	(各種規定使用に準ずる)			

注：コーキング部分も含めて艶消し仕上げにする場合は、ビニラー2100<弾性タイプ>(詳細は別紙資料参照)をご使用ください。市販のAEPを塗装しますと塗膜が硬いため表面に割れが発生することがあります。

C. ビニルクロス下地のシミ・ヤニ抑え、塗替え塗装

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率(%) (清水)	塗布量(kg/㎡)	乾燥時間	摘要
素地調整	ゴミ・ホコリ・油分などを除去。中性洗剤などを使用しシミ・ヤニを拭き取る				
下塗り	IPバリアコート	0~3	0.12~0.15	3時間以上	乾燥確認
上塗り	艶消し仕上げの場合 ビニラー2100<弾性タイプ>	5~10	0.12~0.13	2時間以上	乾燥確認
	艶有り仕上げの場合 IP軟質塩ビコート	5~10	0.12~0.15	2時間以上	乾燥確認

注：艶消し仕上げの場合、ビニルクロスは伸びがあるためビニラー2100<弾性タイプ>(詳細は別紙資料参照)をご使用ください。市販のAEPを塗装しますと塗膜が硬いため表面に割れが発生することがあります。

使用上の注意事項

- ◆素地調整は必ず行ってください。またシミ、ヤニなどの汚れがひどい場合は中性洗剤などを使用しできるだけ除去してください。
- ◆可塑剤を含む下地への塗装は、必ず上記工程で行ってください。
- ◆原則としてIPバリアコートは原体使用ですが、必要な場合は3%以内で水希釈を行ってください。(水希釈を必要以上に多く行いますとシミ、ヤニ止め効果に影響します)
- ◆IPバリアコートは下塗り専用塗料です。上塗り塗料としてはご使用になれません。
- ◆気温が5℃以下または下地の表面温度が5℃以下、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆その他の仕様についてはエマルジョン塗料に準じます。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社
〒760-0080 香川県高松市木太町3072 TEL 087-833-3525(代)
FAX 087-833-3527
関東/(048)644-3528